

人工知能学科（昼間部3年制）

学科の特色

音声認識デバイスや自動運転車のように、身の回りのあらゆるモノにAI（人工知能）が搭載され、IoT（Internet of Things）と呼ばれる技術で社会課題を解決する時代が訪れている。そのような時代において必要なのは、課題を解決するソリューションの設計・実装・制御・拡散を総合的に実践できる人材である。本学科ではAI・ロボット・IoT分野において新しいビジネスを創造し、社会に貢献できる人材の育成を目標とする。

ディプロマポリシー

本専攻では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、以下の教育的な目的を掲げている。

1. 設計する能力（CAD、機械設計・製図、デザイン）を身につけること。
2. 実装する能力（メカトロニクス、電子回路、造形）を身につけること。
3. 制御する能力（プログラミング・機械学習・AI・通信・センサー）を身につけること。
4. 拡散する能力（マーケティング、対話技能、プレゼンテーション技能）を身につけること。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するために、以下のような工夫を行なっている。

1. ソフトウェア・ハードウェア専門科目および実習を、現場経験を持つ教員により実施することで、実践的かつ応用が可能な知識・技術を養う。
2. 業界特別講義や企業連携課題、企業研修により、職業人材として必要な能力・気構え・心構えを養う。
3. 英語学習やグローバル企業の研修を通じ、国際的に活躍できる人材となる。
4. 卒業発表、ロボットプロジェクトを通じて、課題発見力・解決力、計画実行力、プレゼンテーション技能を養う。

アドミッションポリシー

本専攻では、ディプロマポリシーに掲げた教育的目的に望ましいAI・ロボット・IoT技術者として活躍してもらうため、以下に示す姿勢や考えに共感できる人物を求めている。

1. さまざまな社会課題（社会サービス・医療・福祉・健康・生活）の解決に貢献したいと自発的に考え、目的・目標を持つことができる人材。
2. 問題・課題を解決するために率先して行動でき、周囲との協力・協働ができる人材。
3. AI・ロボット・IoT技術者としての自己研鑽に励む人材。

取得目標資格

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| (1) IoT検定 | (2) 3次元CAD利用者技術試験（準1級・2級） |
| (3) 第二種電気工事士 [国家資格] | (4) 基本情報技術者 [国家資格] など |
| (5) AWS 認定 クラウドプラクティショナー試験 | (6) JDLA Deep Learning for GENERAL |

就職分野

AI開発、IoTサービス開発、データサイエンス、モビリティ、ロボット開発、機械設計、CAD・デザイン、ソフトウェア開発、電子機器、医療・福祉機器、家電、玩具、教育教材 など